

つくば市記者会 御中

発信日：令和8年（2026年）3月10日（火）

発信元：つくば市 政策イノベーション部 科学技術戦略課

取材依頼 周知依頼 募集告知 その他

つくば市の自動運転バスの取組が「自動運転社会実装先行的事業化地域事業」に選定されました

つくば市の自動運転バスの取組が、デジタル庁が所管する「令和7年度（2025年度）自動運転社会実装先行的事業化地域事業」の「技術的課題解決型」に選定（令和8年3月6日）されました。

これにより、本市では国からの支援等を活用して、令和9年度におけるレベル4自動運転バスの実装に向けて取組を加速していきます。

【自動運転社会実装先行的事業化地域事業】

本事業は、広く地域で事業として持続可能なビジネスモデルの構築や、自動運転の事業化に向けた課題解決を目指す等、令和9年度（2027年度）を目途に先行的に事業化を実現する取組を行う地域に対し、関係府省庁による総合的な支援が行われるものです。

今回、デジタル庁がレベル4自動運転サービスの社会実装・事業化を早期に実現することを目的として、地方公共団体等を対象に、令和7年12月23日から令和8年1月23日まで公募を行い、全国13地域が選定されました。

【つくば市が目指す自動運転サービスについて】

- ・筑波大学循環におけるレベル4自動運転バスの社会実装
- ・バス運転手不足や路線バスの減便などの課題の解決による地域公共交通の維持
- ・自動運転サービスを持続可能にする横展開型のビジネスモデルの構築

【選定されたことによる国からの支援内容】

- ・関係府省庁の支援メニューの優先採択など
- ・デジタル庁による伴走支援



デジタル庁ホームページ

デジタル庁ホームページ

<https://www.digital.go.jp/policies/mobility/a71c2b0b-0506-43de-b7f8-2cb20172752a>